

富士山の登山者カウンターとデータ回収

富士山日記第38号 執筆者 環境省 沼津自然保護官事務所 橋本)

登山者カウンター

富士山の夏山シーズンが、間もなく終了となります。（静岡県側は9月10日、山梨県側は9月14日）環境省では、富士山の開山期間中（静岡県側：7月10日～9月10日、山梨県側：7月1日～9月14日）の登山者数を把握するために、各登山道八合目付近に赤外線カウンターを設置しています。



（富士宮口八合目池田館脇に設置中のカウンター）

このカウンターは、赤外線センサーの前を人が通るとカウントされるものです。

もちろん、右から左、左から右へ行く人をカウントしますので、登山者と下山者それぞれの人数がわかります。

充電はソーラーパネルでおこない太陽電池に貯蓄されるので、曇りや雨でもきちんとカウントすることができます。

カウントされた数値は、赤外線センサー内に保存されるので、そのデータを回収するためアクティブルンジャーは定期的に富士山に登ります。

お天気の良い日は気持ち良く回収に向かえるのですが、悪天候の日はできれば登山を控えたいのが正直なところです。（あまりにもひどい天候の時は日を変えて回収に行きます）

実際、今回は9月1日に回収する予定でしたが、その日の富士山は普通に歩けない程の暴風雨だったため、9月3日に変更しました。

9月3日に回収した時は、朝からどんどんよりした空模様で、五合目に着いた時には富士山頂付近に笠雲が始めっていました。

登山道を登っている最中も、その笠雲は富士山頂から少しづつ標高を下げ、元祖七合目に到着した時には、自分が笠雲の中に入っていました。



（富士宮口元祖七合目付近にて）

笠雲の中はとにかく強風です。

時には、右から左から下から上からと風や雨が吹き付けてきて、立っているのがやっとという状況になります。

バランスを崩して転んでしまうこともあるので、強風・暴風の日は登山を控えていただきますようお願いいたします。

この日は、何とか耐えられる程度だったため、カウンターに保存されているデータを回収することができました。

そのデータは、9月11日に環境省関東地方環境事務所・富士箱根伊豆国立公園のホームページで公表となります。（7月1日～8月31日の登山者数）

関東地方環境事務所：<http://kanto.env.go.jp/topics.html>

富士箱根伊豆国立公園：<http://www.env.go.jp/park/fujihakone/>

自然情報

宝永火口周辺で、立派なフジアザミに出会いました。



富士山の登山道（御殿場口・須走口・吉田口は五合目～山頂、富士宮口は六合目～山頂）は閉鎖されますが、五合目までは行くことができます。（富士宮口は六合目まで）
これからどんどん寒さが厳しくなる富士山ですが、装備を整えて散策を楽しむのもオススメです。



富士山における適正利用推進協議会

(事務局：環境省富士箱根伊豆国立公園管理事務所、山梨県、静岡県)

[問い合わせ先一覧](#)

[サイトマップ](#)

[リンク集](#)

[サイト管理者・著作権・リンクについて](#)

[富士山における適正利用推進協議会について](#)

Copyright (C) 2016 富士山における適正利用推進協議会 All rights reserved.